

令和3年1月14日
東日本高速道路株式会社
北海道支社

E5A 後志自動車道(余市IC～小樽JCT間)開通後の整備効果

平成30年(2018年)12月8日に開通した後志自動車道(後志道)・余市インターチェンジ(IC)～小樽ジャンクション(JCT)間の、開通後(同年12月9日～令和元年(2019年)12月8日)の交通状況や整備効果などについて、お知らせします。

○開通後の交通状況(ページ1)

- ・平均交通量は、平日約4,200台、休日約6,000台
- ・札幌市～余市町間の所要時間が約10分短縮

○高次医療施設への救急搬送の迅速性向上に寄与(ページ6)

- ・羊蹄山ろく地域などから札幌市への救急搬送時間が短縮
- ・「ラピッドレスポンスカー」の運用範囲が後志地域の全域に拡大

そのほかにも、下記の整備効果が発現しています。

- ・日帰り観光圏の拡大や観光地での滞在時間増加に寄与(ページ2)
- ・後志道周辺地域の観光入込客数増加に寄与(ページ3)
- ・農水産品輸送の利便性向上に寄与(ページ4)
- ・土地区画整理事業地の魅力向上に寄与(ページ5)

後志道の現在の建設事業内容については、ページ7をご覧ください。

開通後 整備効果

後志自動車道
余市IC～小樽JCT

後志自動車道

華鳳


SHIRIBESHIDO

書家「石野華鳳」作

あなたに、ベスト・ウェイ。

NEXCO
東日本





E5A 後志自動車道 余市IC～小樽JCTの整備効果

開通後の交通状況

後志道の開通後の交通量は、平日は1日平均約**4,200台/日**、休日は1日平均約**6,000台**！

札幌市～余市町(役場間)の所要時間が約**10分短縮**！

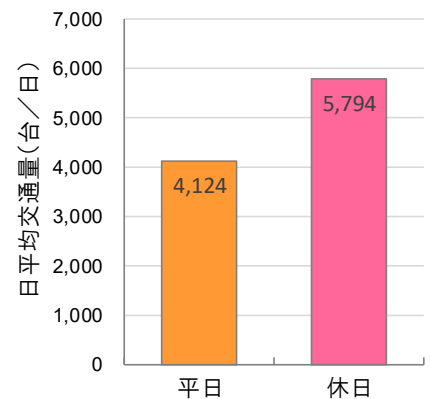
後志自動車道開通区間の概要

	余市IC～小樽塩谷IC	小樽塩谷IC～小樽JCT
延長	9.0km	14.3km
車線数	暫定2車線	
開通日	平成30年12月8日	

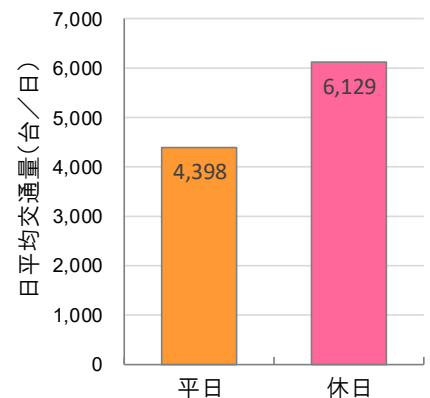


日平均交通量 (平日・休日)

余市IC～小樽塩谷IC



小樽塩谷IC～小樽JCT



資料：NEXCO東日本調べ (H30.12.8～R1.12.7)

札幌市役所～余市町役場の所要時間

	開通前	開通後
所要時間	71分	58分

資料：旅行速度 ETC2.0プローブデータ
 開通前：データH30.10、ルート 札幌道小樽IC～国道5号
 開通後：データR1.10、ルート 札幌道～後志道

利用者の声

札幌から余市まで早く行けるようになりました。(札幌市在住30代女性)



札幌までの移動時間が短縮されました。危険な冬道でも安心して通れます。(倶知安町在住30代男性)



出典：Webアンケート (令和2年1月実施)

E5A 後志自動車道 余市IC～小樽JCTの整備効果

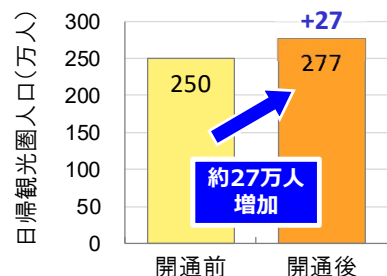
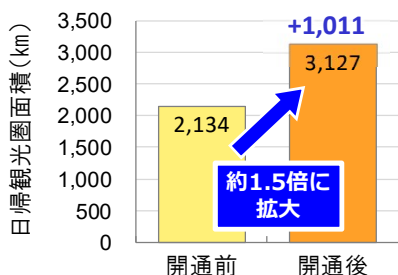
日帰観光圏の拡大や観光地での滞在時間増加に寄与

日帰観光客が多い後志道周辺地域の**日帰観光圏が約1.5倍に拡大！**
 体験型観光が豊富なニセコエリアでは、**滞在時間が約40分増加！**

■ 積丹町からの日帰観光圏（2時間圏）とニセコエリアの滞在型観光

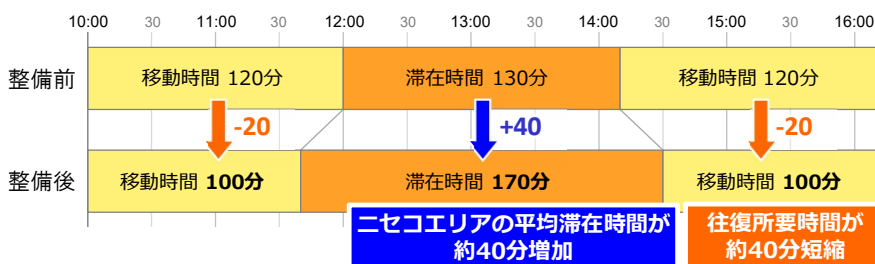


日帰観光圏が約1.5倍に拡大し、日帰観光圏内の人口が約27万人増加！



資料：旅行速度 ETC2.0プローブデータ
 開通前：H30.8休日
 開通後：R1.8休日

■ 札幌市～ニセコエリアの往復所要時間・ニセコエリア来訪者の平均滞在時間

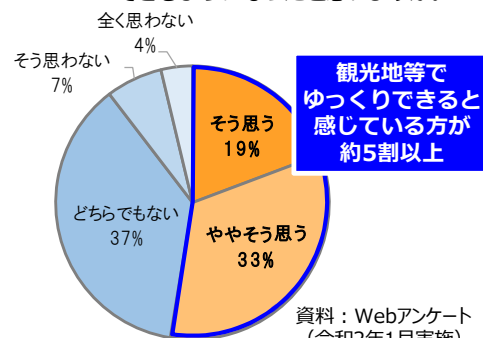


資料：往復所要時間（札幌市役所～倶知安町役場）旅行速度 ETC2.0プローブデータ
 開通前：データH30.8休日、ルート札幌道小樽IC～国道5号 開通後：データR1.8休日、ルート札幌道～後志道
 平均滞在時間 ETC2.0プローブデータ
 【札幌市からニセコエリアに訪問した方の平均滞在時間（ニセコエリアでの滞在箇所が1箇所の方のみの集計）】
 開通前：H30.7～8休日 開通後：R1.7～8休日

ETC2.0による滞在時間集計値は、前130分、後177分で47分増加
 片道所要時間の集計値は、前117.6分、後96.5分で21.1分短縮

■ 利用者アンケート

Q.観光地や買い物先でゆっくりできるようになったと思いますか。



資料：Webアンケート（令和2年1月実施）
 【後志道の利用経験がある後志地方以外の在住者の意見、n=135】

■ 利用者の声

移動時間が短縮され、観光時間に余裕が持てるようになりました。（札幌市在住60代女性）

札幌からニセコや倶知安に行きやすくなりました。（札幌市在住40代男性）

余市から先まで行くのが楽になったので、観光の機会が増えそうです。（千歳市在住40代女性）





E5A 後志自動車道 余市IC～小樽JCTの整備効果

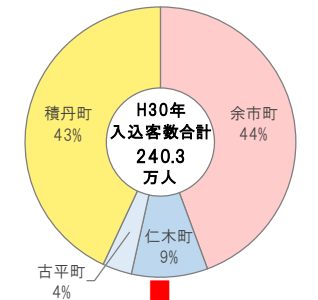
後志道周辺地域の観光入込増加に寄与

後志道開通により、周辺地域に**来訪する交通量が増加!**
 地域の観光入込客数は、主要観光地がある**積丹町で約20万人、余市町で約12万人増加!**

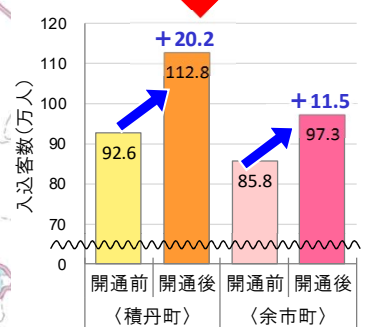
後志道周辺地域の観光入込状況



後志道周辺地域の入込客数

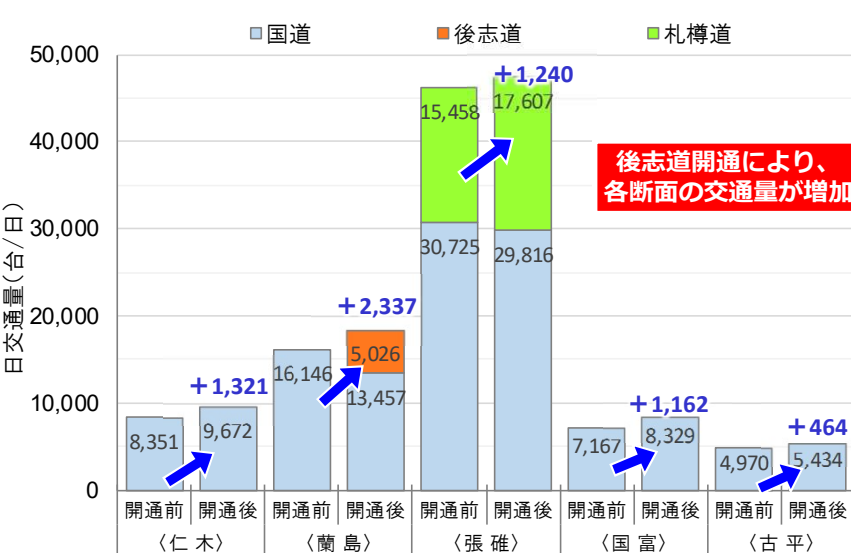


地域の入込の8割以上を占める積丹町と余市町で、入込客数が大幅に増加



資料：【上図】H30年：H30.1～12
 【下図】開通前：H30.1～9、開通後：H31.1～R1.9
 北海道観光入込客数調査報告書
 【後志道周辺地域：余市町・仁木町・積丹町・古平町の4町】

後志道周辺地域に来訪する交通量の変化



資料：後志道・札幌道 NEXCO東日本、国道 北海道開発局
 開通前：H30.5の平均日交通量、開通後：R1.5の平均日交通量

余市町役場の声

「北しりべし地域魅力発信協議会(事務局：余市町)」では、後志道の開通前からPR活動を実施してきました。そのPRの効果もあり、後志道の開通後は、後志道をより身近に感じている道内容の入込が特に増えています。後志道は、観光面のPR材料にもなり、非常にメリットがあります。

出典：ヒアリング調査 (令和2年1月実施)

積丹町役場の声

町全体の入込が増加しており、後志道の恩恵を感じており、特に、神威岬自然公園の入込が増加している。積丹町に入ってくる交通量は、町が実施している調査でも増えている。

出典：ヒアリング調査 (令和元年12月実施)

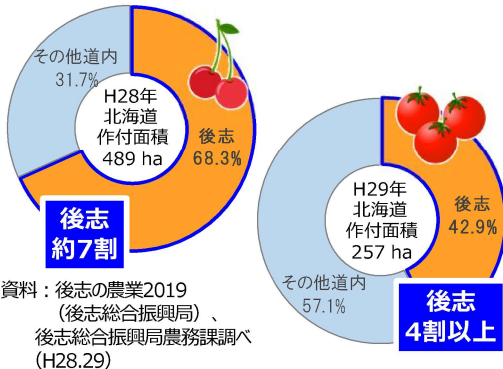


E5A 後志自動車道 余市IC～小樽JCTの整備効果

農水産品輸送の利便性向上に寄与

新千歳空港や苫小牧港から全国に多く出荷している後志産の**サクランボ**や**ミニトマト**、**ウニ**の輸送の**迅速性**や**定時性**が向上！

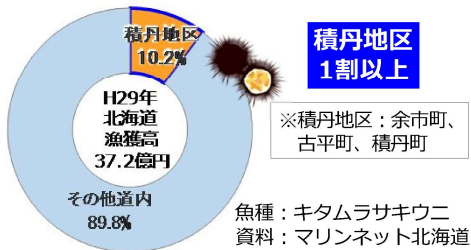
北海道のサクランボ・ミニトマト作付面積



後志管内特産品（サクランボなど）の輸送状況



北海道のウニ漁獲高

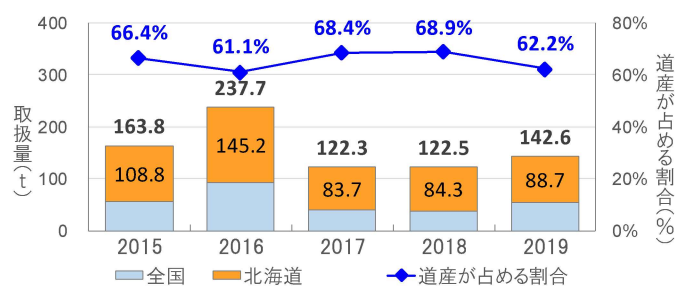


サクランボは作付面積が全道の約7割を占めるなど、サクランボ、ミニトマト、ウニは、後志地方を支える特産品

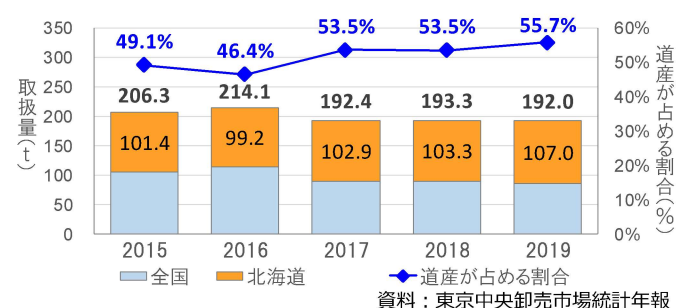
本州市場における取扱

北海道産のミニトマトやウニなどは、東京・大阪の市場での取扱量が多い！

【大阪府中央卸売市場のミニトマトの取扱量(8～9月)】



【東京都中央卸売市場のウニ取扱量(6～8月)】



JA新おたるの声

新千歳空港へのサクランボの輸送で後志道を使うことで、時間が読めるため、時間を有効に使えます。



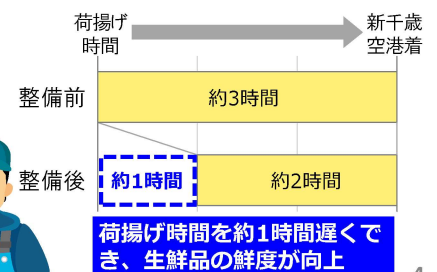
出典：ヒアリング調査（令和元年12月実施）

東しゃこたん漁協の声

ウニ等の生鮮品は、荷揚げ時間を遅らせて、鮮度保持することが重要です。これまででは、新千歳空港まで2時間半～3時間みていましたが、後志道が開通し、2時間かからず行けるため、荷揚げ時間を遅くできます。



出典：ヒアリング調査（令和元年12月実施）





E5A 後志自動車道 余市IC～小樽JCTの整備効果

土地区画整理事業地の魅力向上に寄与

余市町では、土地区画整理事業により、「余市まほろばの郷」が造成され、宅地を好評分譲中！余市ICから約1.5kmの距離に位置するため、後志道開通により札幌方面のアクセスが向上し、札幌市の通勤1時間圏内に！

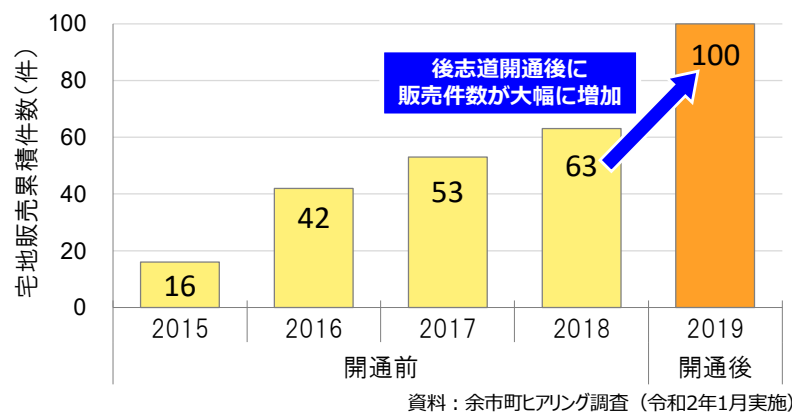
余市まほろばの郷（団地）の位置図・概要

基礎データ

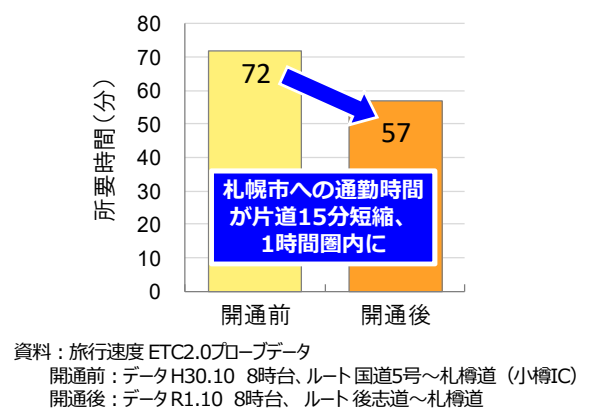
- ・ 施行主体 余市町黒川第一土地区画整理組合
- ・ 総面積 56.9ha（区画整理面積）
- ・ 総区画数 675区画
- ・ 坪単価 4万円台～



余市まほろばの郷 宅地販売件数の推移



余市まほろばの郷～札幌市の通勤時間帯の所要時間



余市町役場の声

「余市まほろばの郷」は余市ICに近接しているため、後志道が開通して札幌市内が通勤圏になるなど、札幌・小樽への利便性の良さが売りになっています。





E5A

後志自動車道

余市IC～小樽JCTの整備効果

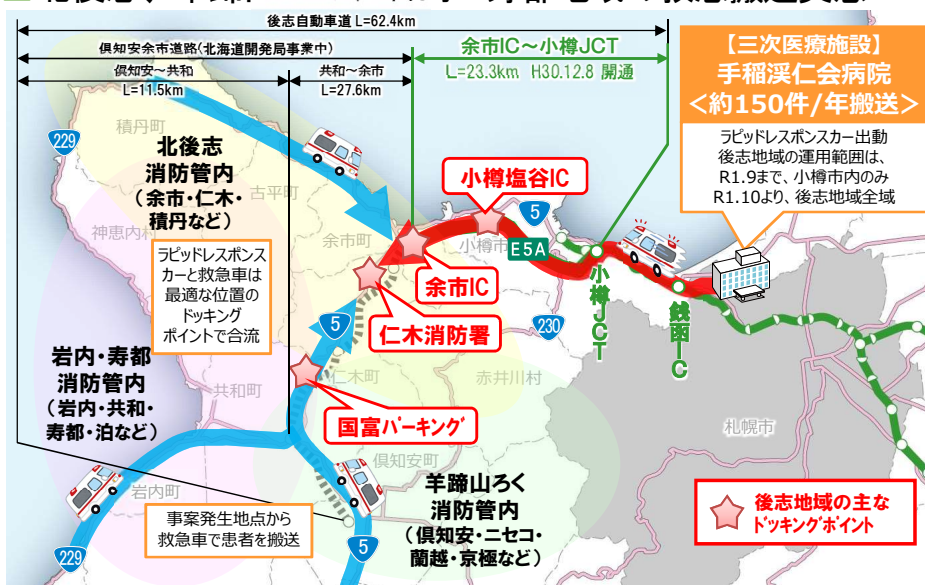
高次医療施設への救急搬送の迅速性向上に寄与

羊蹄山ろく地域等から札幌市への救急搬送時間が**約18分短縮!**

ラピッドレスポンスカー※の運用範囲が**後志地域の全域に拡大!**

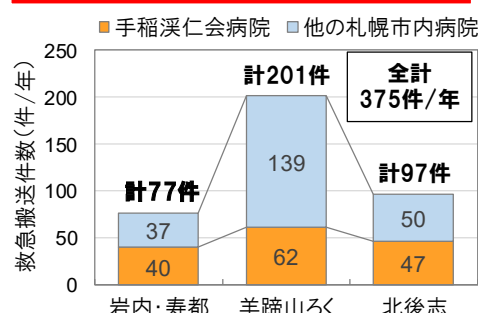
初期医療の開始時間がさらに**約44分短縮し、救命率が大きく向上!**

北後志、羊蹄山ろく、岩内・寿都地域の救急搬送実態



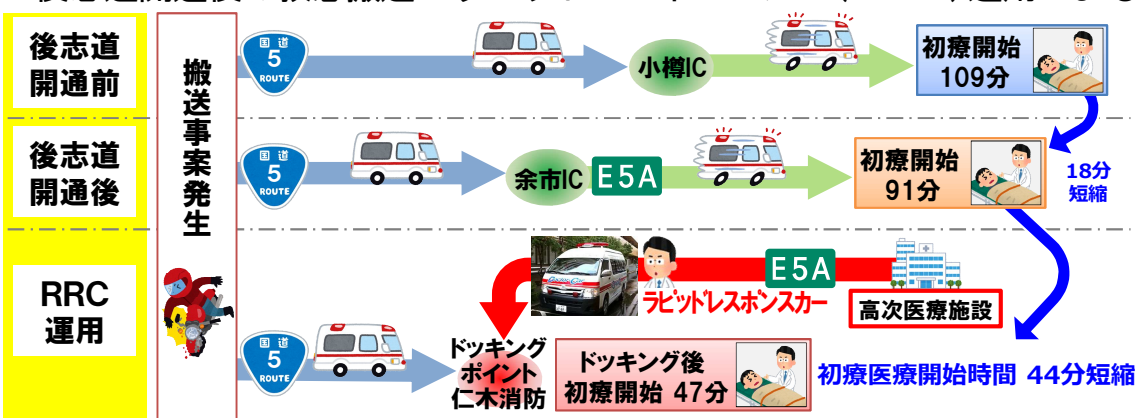
札幌市への救急搬送件数

北後志、羊蹄山ろく、岩内・寿都の各消防本部の管内から札幌市内病院への管外搬送を年間375件(1日1件以上)実施うち、約150件は手稲溪仁会病院への搬送



資料: 各消防本部 平成30年 救急搬送記録データ (北海道開発局 小樽開発建設部調べ)

後志道開通後の救急搬送・ラピッドレスポンスカー(RRC)運用による救命率向上



消防組合の声

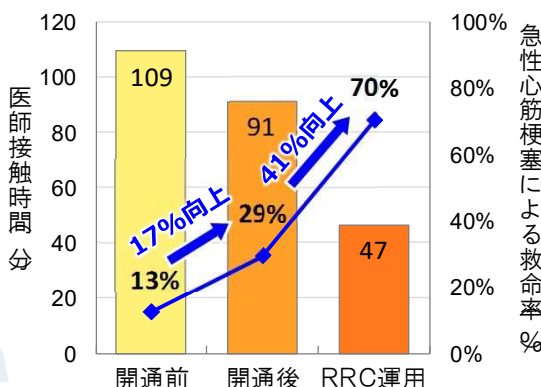
余市から手稲溪仁会病院への転院搬送では、必ず後志道を利用しています。片道約20分の時間短縮は非常に大きく、効果を感じています。



※ラピッドレスポンスカー(RRC): 医師が救急現場等に向かうための緊急自動車。救急現場またはドッキングポイント(救急現場からは救急車が患者を搬送)で救急車と合流し、医師が救急車に乗り込み、車内で迅速な救命処置を実施。RRCでは患者を搬送しない。

救急病院の声

後志道の開通を契機に、ラピッドレスポンスカーの運用範囲が後志地域の全域に拡大しました。雪が降ってドクターヘリが飛ばない時などに活躍します。この冬も倶知安町などに出勤しています。



出典: ヒアリング調査 (令和元年5月実施)

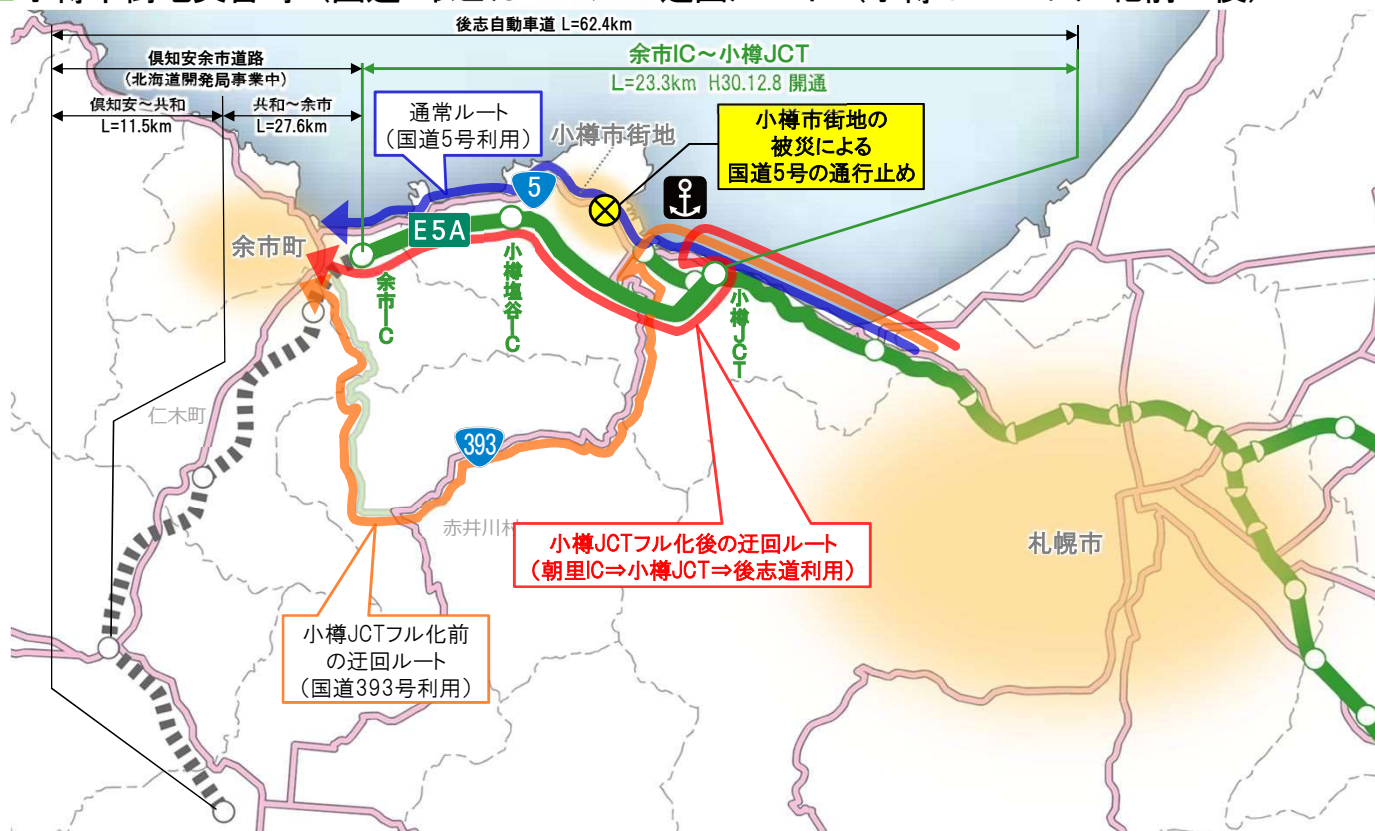
資料: 医師接触時間算出: ETC2.0プローブデータ 12h平均旅行速度 (開通前: H30.4~9、開通後: H31.4~R1.9) 搬送元地点: 倶知安町役場 搬送先地点: 後志道開通前および開通後: 札幌手稲溪仁会病院 RRC運用: 仁木消防署 (ドッキングポイント) 救命率: 「道路整備による救急医療改善効果」 (交通工学Vol.45 No.5 2010) ※重症度が中等症の急性心筋梗塞を対象

E5A 後志自動車道 現在の建設事業内容

小樽JCTフル化事業(小樽方面から余市方面へのランプ)

【交通路の相互補完(国道5号被災時の代替路の確保)】
小樽JCTがフル化することにより、**小樽市街地等の災害時に代替路としての役割**を担い、**国道と相互補完する地域間ネットワークが充実!**

小樽市街地災害時(国道5号通行止め)の迂回ルート(小樽JCTフル化前・後)



小樽JCTの概要

